

大崎地域を世界農業遺産へ vol.27

世界農業遺産の認定に向けた現地調査が行われました

10月30日(月)、世界農業遺産の認定機関で、イタリア・ローマに本部のある国連食糧農業機関(FAO)の世界農業遺産科学助言グループ委員、スリム・ゼクリ委員(チュニジア出身)、あん・まくどなど委員(カナダ出身)の2人が現地調査に訪れました。

当日は、台風22号の余波が残る中、「南原穴堰(鳴子温泉地域)」、世界かんがい施設遺産「内川(岩出山地域)」、屋敷林「居久根(古川地域)」、ラムサール条約湿地「蕪栗沼・周辺水田(田尻地域)」などの農業遺産の資源を巡りながら調査が行われました。水管理や環境保全米づくりに取り組む農業者、田んぼの生きもの調査や渡り鳥の保護に携わるNPO法人などが現地を案内し、取り組みや特徴を紹介しました。

両委員からは、豊饒の大地「大崎耕土」を支える巧みな水管理の基盤や管理体制、自然と共生する農業の取り組み、暮らしを支える居久根などに高い評価をいただきました。

今後、FAOにおいて現地調査の結果報告が行われます。大崎地域の世界農業遺産への認定は、その結果を踏まえて可否が判断されることとなります。



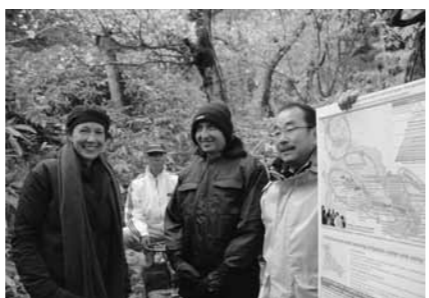
【問い合わせ先】産業政策課
世界農業遺産推進室
☎23-2281
sangyo@city.osakimiyagi.jp



▲委員のスリム・ゼクリ氏(左)、あん・まくどなど氏(右)



▲屋敷林「居久根」の機能と生物多様性について調査(古川地域)



▲水管理組織から巧みな水管理手法について説明(鳴子温泉地域)

今後、現地調査に基づき認定の可否が決まります。認定されずと東北初の世界農業遺産となり、ラムサール

大崎市長 伊藤 康志

市長コラム 大地人 大崎耕土を絶賛!!

先般、待ち望んでいた国連食糧農業機関(FAO)の世界農業遺産現地調査が行われました。

大崎耕土は、3月に日本農業遺産に東北地方で唯一認定されました。9月には日本政府がFAOに認定申請をしており、書類審議を経て、このたび2名の科学助言グループ委員が大崎に現地調査に入りました。

台風22号の影響による暴風雨の中、早朝から夜遅くまで精力的に調査、懇談いただきました。委員からは「世界農業遺産に必要な要件は全て備えている!」「長年にわたるシステムが維持され、環境、農業、生物多様性が共存しつつ、良質のコメを生産していることは素晴らしい!」「誇りを持って世界に発信していくべき!」などと称賛していただきました。

今後、現地調査に基づき認定の可否が決まります。認定されずと東北初の世界農業遺産となり、ラムサール

11月1日現在の人口 (単位:人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	38,245	+46	39,654	+16	77,899	+62	31,136
松山	2,976	-6	3,151	-11	6,127	-17	2,199
三本木	3,976	+2	4,008	-7	7,984	-5	2,695
鹿島台	5,832	-8	6,245	+5	12,077	-3	4,551
岩出山	5,365	-9	5,663	-16	11,028	-25	4,194
鳴子温泉	2,952	-8	3,286	-11	6,238	-19	2,769
田尻	5,486	-6	5,638	+3	11,124	-3	3,595
市全体	64,832	+11	67,645	-21	132,477	-10	51,139

☎ 市政情報課統計担当 ☎23-5091

今月の納税

納期限: 1月4日(木)

軽自動車税	—
固定資産税・都市計画税	第4期
市県民税	—
国民健康保険税	第8期
介護保険料	第8期
後期高齢者医療保険料	第6期
個人事業税	—

※市から送付する納付書や口座振替を利用している人の納期限です。

☎ 納税課収納担当 ☎23-5148

火災発生件数

(10月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	17件	-14
林野火災	0件	-2
車両火災	6件	2
その他火災	5件	-9
合計	28件	-23

空間放射線量の測定結果

(単位:マイクロシーベルト/h)

測定日時	地表面から1m	地表面から0.5m
11月13日測定		
市役所第2駐車場	0.05	0.06
松山総合支所	0.03	0.03
三本木総合支所	0.05	0.06
鹿島台総合支所	0.05	0.04
岩出山総合支所	0.05	0.05
鳴子総合支所	0.05	0.05
田尻総合支所	0.04	0.05

交通死亡事故件数

(11月15日現在・右欄は前年比)

発生件数	4件	+3
死亡者数	4人	+3

☎ 防災安全課 消防担当・交通防犯担当・放射能対策室 ☎23-5144

12月号の主な内容

- 4 平成29年大崎市表彰式
- 6 平成28年度決算の概要
- 10 市政トピックス 11月の主な出来事
- 11 地域発!お・ら・ほ・の・ま・ち
- 12 オオサキプレイガイド
- 14 今月のお知らせ 大崎市教育の振興に関する大綱を策定しました ほか
- 26 子育て支援情報
- 27 育児相談・乳幼児健診
- 28 休日当番医 ほか

ピタ崎さんの観光ひとくちメモ



祝! 陸羽東線全線開通100周年

☎ 観光交流課 ☎23-7097

JR陸羽東線が、大正6年11月1日に小牛田・新庄間を全線開通してから、今年で100歳の誕生日を迎えたよ。

バスや自家用車が一般的になる前から、通勤や通学の「足」として活躍していたんだ。それに、単なる移動の手段としてだけでなく、沿線の田園風景や紅葉など、たくさんのお客の目を楽しませてきたんだよね。100年間ありがとう。そしてこれからもずっと

8月に陸羽東線を走り、大きな話題になった最高級リゾート列車「トランスイート四季島」は、12月から3月までの間に16回も鳴子温泉駅にやってくるよ。寒い季節の朝早い時間に到着するので、来てくれる皆さんに心も体も温まるようなおもてなしをしたいよね。

みんな四季島を見かけた手を振ってみよう! それを見た乗客は、きつと温かい気持ちになるよ。

今月の表紙

11月6日、JR陸羽東線開通100周年を記念して、「湯けむり100周年記念号」が小牛田駅から山形県新庄駅まで運行しました。観光列車「リゾートみのり」と、大きな窓と木製の車内が特徴の「風っこストーブ湯けむり号」が連結した特別列車に、市内の親子など約180人が乗車。窓から眺める、のどかな風景や紅葉などの景色と、車内での記念撮影を楽しみました。

特別列車の一日車掌となった子どもたち8人は、車内アナウンスを体験。車掌の白い制服に身を包んで運行経路を紹介し、「緊張したけど楽しかった」と、貴重な体験に笑顔を見せていました。



▲大きな窓が特徴の車両で、ゆったりと列車の旅を楽しむ

100年もの長い間走り続けた陸羽東線。地域に愛される路線として、乗客とともに節目を祝う一日となりました。